

会 議 結 果

会議名	令和2年度第3回西尾市立図書館協議会
日 時	令和3年3月11日（金）午後3時～4時
場 所	西尾市立図書館 会議室
出席者	安井会長、尾崎副会長、中村委員、村松委員、浅井委員、齋藤委員、高須委員、鳥山委員、林委員、伊與田委員
市係等出席者	齋藤部次長、原田図書館長、生田主任主査、黒野主任主査
傍聴者	無し
<p>協議会の中で出されたことは以下のとおり。</p> <p>1 あいさつ 安井会長</p> <p>2 議題 (1) 電子書籍導入について 黒野主任主査より説明。 電子書籍の利用が1月27日より開始した。電子書籍のメリット、内容、電子図書館の利用方法、利用開始から2月末までの利用状況等を説明。※電子図書館の利用方法については実際の画面をプロジェクターで投影し説明した。また、利用開始に合わせて「西尾市立図書館電子書籍の利用に関する要綱」を制定したことを報告。</p> <p>質問 学校での利用について、担任が電子書籍を借り、それを全員が持っている子どものタブレットで同じものを見ながらの学習はできるのか。 → 電子書籍も著作権があり、個人での利用に使うということで公開している。また、担任が借りた書籍を子どものタブレットで同じものを見ることはできない(同じ本に同時に複数アクセスすることはできない)。デジタル教科書のように全員が見ることができるライセンスとは違う。電子図書館の中の「広報にしお」のようなものは誰でも、同時に何人でも見ることができる。</p> <p>質問 通常、窓口で紙の本を借りるのとは別に、3冊借りることができるのか。 → はい、そうです。</p> <p>質問 ログインするときのIDとは貸出カードのバーコード下の番号のことか。 → はい、そうです。</p> <p>質問 電子書籍を探すときに、(特定の本を検索するのではなく) どのような本があるか(書棚を眺めるように) 探すことはできるのか。 → 特集展示の中表紙を見せて展示している。また、「ジャンルで探す」という項目で探して頂くこともできる。</p> <p>意見 電子書籍を試してみた。グーグルでどんな本があるかと検索してから電子図書館の中で書名を入れて探したり、作家の名前を入れて検索した。読み始めて、途中でやめても次に読むときはそのページから表示されるのは便利だった。ただ、読み終わった本の返し方がわからなかった。最後のページに返すというボタンがあると便利だと思った。</p>	

→ 「ご利用ガイド」を見ていただくと、ページのめくり方等が書いてあるので参考にさせていただきたい。

(2) 令和3年度事業計画について

原田館長より説明。

基本方針、施策を説明。貸出サービスの個人目標は、市民一人当たり7.0冊。コロナ禍においても、安心して図書館を利用いただけるようコロナ対策をし、施設の運営管理をしていく。非常事態で図書館が休館した時でも利用できる「電子書籍貸出サービス」にも力をいれていく。利用促進事業では、資料2-2にあるとおりイベントや講座を、感染対策を講じた開催方法で計画実施していく。

また、子ども読書活動推進では、ブックスタート事業や読書通帳の配布などにより、子どもの読書意欲の向上を目指す。ブックスタート、おはなし会ではボランティアの介入も、コロナの状況をみて判断し協力いただけるよう事業を進めていきたい。

利用者それぞれのニーズに対応した、子育て支援サービス、学校支援サービス、高齢者及び障害者対応サービス、行政と連携したサービスも行っていく。

資料整備においては、資料の収集方針にそって、購入から除籍までの蔵書管理をしていく。

質問等 なし

3 報告

(1) 利用者アンケートの結果について

生田主任主査より説明。

12月18日から1月31日に実施した図書館利用者アンケートは、コロナの関係で館内での記入ではなく持ち帰って次回来館時に提出という形に変更。また設問も、「読書通帳について」と「図書館におけるコロナ対策について」の2つに絞ったものにした。

読書通帳の設問では持っている人の8割強が子どもで、学校や図書館窓口で配布されたものを利用。通帳を持っていると答えた人のうち、このサービスが始まってから図書館を利用するようになった人は9%、図書館への来館頻度が増えた人は36%。統計の数字を見ても、11月以降の貸出冊数、利用者数は前年度の同じ月を上回る数字となっている。

図書館におけるコロナ対策の設問では、安心して本を借りることができる、対策に感謝しているの声多数あり。

質問等 なし

(2) 各館の運営状況について

生田主任主査より一色学びの館モニタリング結果について説明。

第2四半期(R2.7~9月)の「事業展開」について、夏に実施している図書館まつりが実施できなかったが、代替企画を行い利用促進を行ったということで○とした。

第3四半期(R2.10~12月)の「サービス・広報」に含まれる利用者満足度向上の取り組みは、読書通帳が始まったことと定例おはなし会を再開したことで○と判定した。一方、「事業展開」において、定員に満たない事業がいくつかあったため△とした。また、「利用状況」についても、数値が目標に満たないものがあるため△とした。

質問等 なし

(3) その他

生田主任主査より西尾っ子読書フェスティバルの開催についてのお知らせ。

会長 会長により西尾市図書館協議会を閉会した。

最後に齋藤教育部次長からのあいさつ。